

医療提供対応状況について（介護施設）～詳細～

Page 1

登録No 54

1. 施設名	特別養護老人ホーム 第三善興園		
2. 住所	〒	807-0081	
	八幡西区大字小嶺721-1		
	TEL	093-614-6555	
	FAX	093-614-6556	
3. 地区	八幡西区		小嶺
4. 入所相談対応者	公開	①氏名	甲斐 早苗
		①職種	生活相談員
		②氏名	高寄 恵輔
		②職種	生活相談員
5. 施設種別	特別養護老人ホーム（地域密着型含む）		
	【補足】『その他』（詳細）	—	
6. 施設の居室 タイプ・ベッド数	従来型		
	【補足】『従来型』（詳細）	①個室	あり
		②ベッド数	50床
7. ショートステイ	あり	【補足】	—
8-1. 看護職員の 雇用状況	雇用している		
	①常 勤	2人	
	②非常勤	6人	
8-2. 看護職員の 夜勤体制	公開	対応していない	
		【補足】	
		①『オンコール対応』時間	—
		②『その他』（詳細）	—
9. 施設の入所基準 ～介護度～	×	自立	⇒【補足】 — (年齢)
	×	要支援 1	
	×	要支援 2	
	○	要介護 1	
	○	要介護 2	
	○	要介護 3	
	○	要介護 4	
	○	要介護 5	



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム 第三善興園		
10-1. 施設の入所基準 ～若年性認知症～	公開	若年性認知症患者の受入に係る相談対応の可否 ○	
10-2. 施設の入所基準 ～その他～	公開	受入の可否	
		○	生活保護
		—	身元保証人がいない
10-3. 施設の入所基準 ～医療対応状況～	対応可能な項目について		
	A	B	※A…入所時、B…ショートステイ時
	×	×	経管栄養（胃瘻・腸瘻）
	×	×	経管栄養（経鼻）
	×	×	CVポート
	×	×	中心静脈栄養
	○	○	血糖・インスリン注射
	×	×	点滴静脈輸液
	○	○	褥瘡処置
	○	○	膀胱留置カテーテル
	×	×	膀胱瘻
	○	○	導尿（自己のみ）
	×	×	気管切開
	×	×	人工呼吸器
	○	○	酸素吸入
	×	×	腎瘻
	○	○	浣腸・摘便
	○	×	ストーマ（消化器・尿路）
	×	×	血液透析
	×	×	腹膜透析
	×	×	感染症（MRSA・疥癬他）
	×	×	神経難病
	○	×	喀痰吸引
	—	×	喀痰吸引（夜間）
	—	○	喀痰吸引（昼間）
	○	—	終末期
	—	×	麻薬を用いた疼痛管理
	—	○	施設にて看取り（10-4.実績数）
	—	—	状態悪化時、病院搬送



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム 第三善興園				
10-4. 施設の入所基準 (看取り実績)	公開	昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の看取り実績数 14 件			
11. 手話及び 外国語対応	対応職員の有無など				
	手話	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	英語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	その他 対応可能 言語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①種類	—	
②人数			—		
12. 食 事	対応の可否など				
	食形態	○	ソフト		
		○	ミキサー		
		○	とろみ		
		○	ムース		
		○	きざみ		
	治療食	×	分割食		
		×	肝臓食		
		×	腎臓食		
		×	糖尿病	⇒【補足】(詳細)	—
		×	塩分制限	⇒【補足】(詳細)	—
	—	×	アレルギー除去食		
		○	嗜好による個別対応		
13. リハビリ対応	公開	リハ加算	算定していない		
		リハビリ 職員数	P T	—	
			O T	—	
			S T	—	
14. 入浴(浴槽)	○	個 浴			
	○	機械浴	⇒【補足】	車いす	○
				ストレッチャー	○
				リフト	○



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム 第三善興園		
15. 透析患者の 受診送迎	公開	対応していない	
		【補足】	— に対応 —
16. その他	公開	入所時、利用者の主治医を事業所嘱託医等に変更している？	
		利用者の状況等に応じてケースバイケースで対応する	
17. 施設の特徴	自然環境に恵まれた施設において、「福祉それは手を合わせる心」をモットーに、感謝の気持ちで有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、食事・排泄・入浴・機能訓練等、お祭り・地域交流・レクリエーション等を実施して、心身機能の維持と自立的生活を援助しています。		



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。